

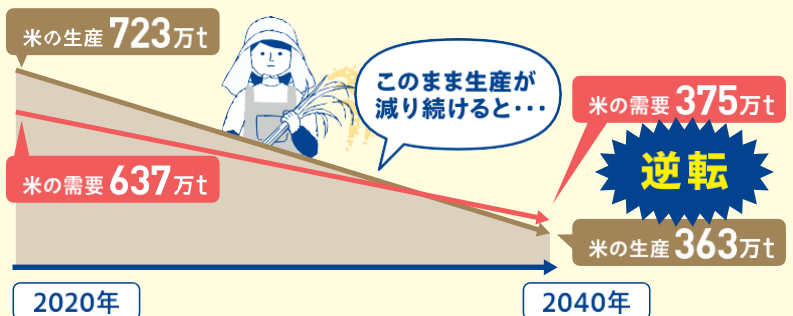


いつか、お米が 足りなくなる時が来る?

お米の需要が減っていることは事実ですが、
それ以上のペースで生産が減っていることも事実です。

今、日本では人口減少と一人当たりのお米の消費量が減ったことで、年間10万トンのペースでお米の需要が減少しています。しかし、それを上回る勢いで、お米を生産する生産者や農地の減少が続いているのも事実です。この流れが続くと、それほど遠くない将来、2040年には生産が需要を下回るという予想さえあるのです。

2040年には需要に生産が追いつかなくなる可能性も!



日本総合研究所「米穀流通2040ビジョン」を元にしたイメージ

専門家による
ワンポイント
解説

お米を食べ続けられるようにするには、
生産コストを反映した適正な価格形成がカギです。



農業経済学者
おがわ まさゆき
小川 真如先生



今までお米の価格は低い状態が続いてきました。一方、農家の高齢化と減少が続き、農地の維持も難しくなっています。その中で、お米を作り続けていく

ためには、生産コストに見合った適正な価格形成を図ることが大事です。お米の価格を安定させながら、適正な価格形成を実現することは、私たち消費者の「食」の未来のためにも、必要なことと言えるでしょう。

JAグループの
取り組み

米作りの担い手を支える

JAの営農指導員は、生産者と共に地域の農業生産力の維持・向上を目指しています。環境調和型農業やスマート農業の導入に取り組み、新規就農者の支援も進めています。

詳しくは
こちらから

